2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名　日本パーカライジング株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4095　URL　https://www.parker.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長執行役員　（氏名）　青山　雅之
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員コーポレート本部長　（氏名）　相島　敏行　（TEL）03-3278-4333

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月8日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	68,463	5.1	9,007	24.4	10,855	22.8	6,188	9.3
2026年3月期中間期	65,146	3.8	7,241	1.5	8,842	△0.7	5,661	△4.0

（注）包括利益　2027年3月期中間期　11,398百万円（140.7%）　2026年3月期中間期　4,735百万円（△56.9%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	58.09	―
2026年3月期中間期	50.50	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	271,261	224,323	75.2	1,946.72
2026年3月期	273,094	221,457	73.9	1,864.35

（参考）自己資本　2027年3月期中間期　204,109百万円　2026年3月期　201,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	25.00	―	25.00	50.00
2027年3月期	―	25.00			
2027年3月期(予想)			―	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,000	△1.5	16,000	1.9	20,500	4.2	14,500	12.1	144.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

2026年5月14日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議をしました。2027年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の影響を考慮しています。

また、従来「受取技術料」を営業外収益に計上しておりましたが、当中間連結会計期間より「売上高」に計上する方法に変更しました。2026年3月期の業績についても、この変更を反映させた組替え後の数値に修正しております。

※　注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更　：無

新規　―社（社名）　、除外　―社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	132,604,524株	2026年3月期	132,604,524株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	27,756,567株	2026年3月期	24,351,467株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	106,527,997株	2026年3月期中間期	112,108,165株

※　第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 ……2
(1) 当中間期の経営成績の概況 ……2
(2) 当中間期の財政状態の概況 ……4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 ……5
(1) 中間連結貸借対照表 ……5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 ……7
中間連結損益計算書 ……7
中間連結包括利益計算書 ……8
(3) 中間連結財務諸表及び主な注記 ……9
(継続企業の前提に関する注記) ……9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) ……9
(セグメント情報等の注記) ……10
3. 補足情報 ……12
(1) 四半期毎の業績の推移(連結) ……12
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 ……13

1.経営成績等の概況

(1)当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、中東情勢や自然災害の影響など先行きに対する不透明感が依然として残っております。また、世界経済におきましても、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いています。しかしながら、中東情勢をはじめとする地政学的リスクなどにより、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要な供給先であります自動車業界では、国内の生産台数は前年を上回る水準で推移しました。海外においては、インドなどで生産台数が前年を上回りましたが、中国などでは前年割れで推移しました。もう一つの柱であります鉄鋼業界においては、国内の粗鋼生産量は前年と同等水準となりました。海外においては、アメリカ及びインド等では前年を上回りましたが、中国等の地域では前年を下回る水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、前期より第5次中期経営計画をスタートさせております。2028年の創業100周年に向け、品質向上、安全確保、資本効率の向上など、持続的成長を支えるためのグループ経営基盤の確立を図ってまいります。また、「変革への挑戦～Challenge for Change!～」をスローガンに掲げ、1928年の創業以来培ってきた表面改質技術を通じて、既存事業の深耕、海外事業の拡大、新規分野の開拓に注力し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

この結果、当中間期の連結業績は次のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
当中間会計期間（2027年3月期）	**68,463**	**9,007**	**10,855**	**6,188**
前中間会計期間（2026年3月期）	65,146	7,241	8,842	5,661
増減額	3,317	1,766	2,012	526
増減率	5.1%	24.4%	22.8%	9.3%

売上高は684億63百万円（前年同期比5.1%増）となりました。なお、売上高は四半期開示が始まった2004年3月期以降、過去最高となりました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同期に比べ薬品事業が10.0%の増収、装置事業が13.1%の減収、加工事業が7.4%の増収、その他が1.4%の増収となりました。また、地域別セグメントは、国内が6.0%の増収、アジアが2.5%の増収、欧米が8.8%の増収となりました。

営業利益は90億7百万円（前年同期比24.4%増）、**経常利益**は108億55百万円（前年同期比22.8%増）、**親会社株主に帰属する中間純利益**は61億88百万円（前年同期比9.3%増）となりました。経常利益につきましても、薬品事業及び加工事業における受注の増加や、装置事業における原価改善等により、過去最高となりました。

なお、従来「受取技術料」を営業外収益に計上しておりましたが、「売上高」に計上する方法に変更しております。

【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で21億76百万円程度の増収、営業利益で2億44百万円程度の増益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

（単位：百万円）

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△)（営業利益）			
	前中間会計	**当中間会計**	増減額	増減率	前中間会計	**当中間会計**	増減額	増減率
薬品事業	29,239	**32,167**	2,927	10.0%	4,905	**5,521**	616	12.6%
装置事業	10,604	**9,211**	△1,392	△13.1%	372	**1,000**	627	168.3%
加工事業	23,889	**25,652**	1,762	7.4%	2,631	**3,294**	662	25.2%
その他	1,412	**1,432**	19	1.4%	△35	**△21**	13	39.6%
調整額（消去）	－	**－**	－	－	△632	**△786**	△153	△24.3%
連結損益計算書計上額	65,146	**68,463**	3,317	5.1%	7,241	**9,007**	1,766	24.4%

①薬品事業

売上高は321億67百万円（前年同期比10.0%増）となり、**営業利益**は55億21百万円（前年同期比12.6%増）となりました。当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これにともなうノウハウ、技術サポートを提供しております。国内では鉄鋼分野・輸送機器分野を中心に、販売が前年同期比にて増加し、堅調に推移しました。そして、海外においても、欧米地域及びアジア地域において販売が順調に推移しました。その結果、薬品事業全体の売上高は増収となりました。利益面では、原材料価格の上昇や人件費、減価償却費及び運送費等の増加があり非常に厳しい状況にて推移したものの、営業利益は増益となりました。

②装置事業

売上高は92億11百万円（前年同期比13.1%減）となり、**営業利益**は10億円（前年同期比168.3%増）となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備及び粉体塗装設備などを製造・販売しております。国内では販売が増加、また収益面も前期同期比にて改善したため、堅調に推移しました。中国やインド等では、販売が減少しましたが、販売費を含めた収益面が前年同期比で改善が進み、利益が増加しました。その結果、装置事業全体では売上高は減収となりましたが、利益面では増益となりました。

③加工事業

売上高は256億52百万円（前年同期比7.4%増）となり、**営業利益**は32億94百万円（前年同期比25.2%増）となりました。当事業部門は、潤滑性・高密着性などの機能性を付与する「防錆加工」、金属の強度や耐久性を高める「熱処理加工」、素材表面に薄膜金属を被膜することで高耐食性、耐摩耗性などを付与できる「めっき処理」などの表面処理の加工サービスを提供しております。主に国内では、輸送機器業界等向けにて販売増加があり、売上高は増収となりました。また、欧米地域及びアジア地域等でも輸送機器向けの販売増加があり、売上高が増収となりました。その結果、加工事業全体では売上高が増収となりました。そして、利益面では、人件費・原材料費・光熱費の高止まり基調は続いておりますが、営業利益は増益となりました。

④その他

売上高は14億32百万円（前年同期比1.4%増）となり、**営業損失**は21百万円（前年同期は35百万円の営業損失）となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業及び医療機器事業を営んでおります。主に国内では、ビルメンテナンス事業等が堅調に推移し、売上高は増収となりました。利益面では、ビルメンテナンス事等において、増益となりました。

【投資情報】

（単位：百万円）

	前中間会計期間	**当中間会計期間**	増減率
減価償却費	3,519	**3,606**	2.5%
設備投資額	5,656	**4,586**	△18.9%
研究開発費	1,407	**1,450**	3.1%
有利子負債	1,167	**925**	△20.8%

(2)当中間期の財政状態の概況

資産合計は、前連結会計年度末と比較し18億32百万円減少し2,712億61百万円となりました。流動資産は103億94百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が118億61百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が20億39百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は85億61百万円増加いたしました。主な要因は、投資その他の資産が79億15百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し46億98百万円減少し469億38百万円となりました。流動負債は73億68百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が23億94百万円、未払法人税等が30億46百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は26億69百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が16億10百万円、環境対策引当金が10億78百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し28億65百万円増加し2,243億23百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が34億74百万円、その他有価証券評価差額金が37億67百万円それぞれ増加し、一方で自己株式が55億35百万円増加(純資産は減少)したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は75.2%と前連結会計年度末と比較し1.3ポイント増加し、1株当たり純資産は1,946円72銭と82円37銭増加いたしました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、国内外の経済が緩やかな回復基調で推移する中、原材料価格の増加や人件費・諸経費の増加等によるコスト上昇の影響があるものの、薬品事業及び加工事業における受注の増加や、装置事業における原価改善等により、業績は堅調に推移しております。これらに加え、環境対策引当金繰入額等の計上の影響等の状況を踏まえ、2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)業績予想を下記のとおり修正いたします。

2027年3月期通期連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	134,000	15,000	19,000	14,000	139.65
今回発表予想（B）	137,000	16,000	20,500	14,500	144.63
増減額（B－A）	3,000	1,000	1,500	500	－
増減率（%）	2.2%	6.7%	7.9%	3.6%	－
（参考）前期実績(2026年3月期)※表示方法変更後	139,047	15,706	19,667	12,940	117.16

(通期予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。なお、この業績予想は直近までの平均レートを参考に作成しております。)

なお、当中間連結会計期間より表示方法の変更を行ったため、前期実績については表示方法の変更を反映させた組替え後の数値となっております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間末 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,757	60,895
受取手形、売掛金及び契約資産	42,240	40,201
有価証券	302	199
商品及び製品	3,942	3,975
仕掛品	85	70
原材料及び貯蔵品	7,290	7,894
その他	2,922	5,609
貸倒引当金	△2,435	△2,135
流動資産合計	127,104	116,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,152	35,228
機械装置及び運搬具（純額）	12,913	13,944
土地	18,346	18,689
建設仮勘定	8,228	3,980
その他（純額）	3,999	4,348
有形固定資産合計	75,641	76,192
無形固定資産	5,020	5,115
投資その他の資産		
投資有価証券	40,501	46,658
退職給付に係る資産	7,848	8,083
繰延税金資産	2,035	2,200
その他	15,031	16,389
貸倒引当金	△90	△89
投資その他の資産合計	65,327	73,242
固定資産合計	145,989	154,550
資産合計	273,094	271,261

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間末 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,888	13,494
未払法人税等	5,829	2,783
賞与引当金	2,831	2,509
役員賞与引当金	108	49
その他の引当金	487	485
その他	11,290	9,746
流動負債合計	36,436	29,067
固定負債		
長期借入金	250	250
退職給付に係る負債	3,674	3,731
役員退職慰労引当金	255	249
環境対策引当金	―	1,078
繰延税金負債	9,687	11,298
その他	1,332	1,263
固定負債合計	15,200	17,870
負債合計	51,636	46,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	5,245	5,246
利益剰余金	178,754	182,228
自己株式	△24,566	△30,102
株主資本合計	163,993	161,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,811	19,579
繰延ヘッジ損益	3	△0
為替換算調整勘定	16,808	17,708
退職給付に係る調整累計額	5,204	4,889
その他の包括利益累計額合計	37,828	42,175
非支配株主持分	19,635	20,214
純資産合計	221,457	224,323
負債純資産合計	273,094	271,261

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年9月30日）
売上高	65,146	68,463
売上原価	42,936	43,682
売上総利益	22,209	24,781
販売費及び一般管理費	14,967	15,773
営業利益	7,241	9,007
営業外収益		
受取利息	430	265
受取配当金	446	513
受取賃貸料	402	364
持分法による投資利益	657	668
為替差益	－	149
その他	197	262
営業外収益合計	2,135	2,225
営業外費用		
支払利息	8	3
賃貸費用	170	191
為替差損	78	－
設備移設費用	114	－
その他	162	182
営業外費用合計	533	377
経常利益	8,842	10,855
特別利益		
固定資産売却益	10	7
投資有価証券売却益	583	－
持分変動利益	－	3
特別利益合計	594	10
特別損失		
固定資産除売却損	88	201
環境対策引当金繰入額	－	1,078
投資有価証券売却損	－	0
事業構造改善費用	79	－
その他	9	10
特別損失合計	177	1,289
税金等調整前中間純利益	9,259	9,576
法人税等	2,786	2,838
中間純利益	6,473	6,738
非支配株主に帰属する中間純利益	812	549
親会社株主に帰属する中間純利益	5,661	6,188

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年9月30日）
中間純利益	6,473	6,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,847	3,971
為替換算調整勘定	△4,903	403
退職給付に係る調整額	△183	△315
持分法適用会社に対する持分相当額	△499	600
その他の包括利益合計	△1,738	4,660
中間包括利益	4,735	11,398
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	4,934	10,535
非支配株主に係る中間包括利益	△199	862

(3) 中間連結財務諸表及び主な注記

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年4月1日　至　2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注1）	合計	調整額（注2）	中間連結損益計算書計上額（注3）
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	29,239	10,604	23,889	63,733	1,412	65,146	－	65,146
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	606	295	34	936	3	940	△940	－
計	29,846	10,900	23,923	64,669	1,416	66,086	△940	65,146
セグメント利益又は損失（△）	4,905	372	2,631	7,909	△35	7,874	△632	7,241

（注）1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△632百万円には、セグメント間取引消去215百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△848百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年4月1日　至　2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注1）	合計	調整額（注2）	中間連結損益計算書計上額（注3）
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	32,167	9,211	25,652	67,031	1,432	68,463	―	68,463
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	792	408	226	1,428	402	1,831	△1,831	―
計	32,960	9,620	25,879	68,459	1,835	70,294	△1,831	68,463
セグメント利益又は損失（△）	5,521	1,000	3,294	9,815	△21	9,794	△786	9,007

（注）1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業及び医療機器事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△786百万円には、セグメント間取引消去185百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△971百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1)四半期毎の業績の推移（連結）

2027年3月期（連結）

（単位：百万円）

	第1四半期 2026年4月～6月	第2四半期 2026年7月～9月	第3四半期 2026年10月～12月	第4四半期 2027年1月～3月	通算 2026年4月～2027年3月
売上高	33,670	34,792			68,463
売上総利益	12,191	12,589			24,781
営業利益	4,737	4,270			9,007
経常利益	5,986	4,869			10,855
税金等調整前当期純利益	5,946	3,629			9,576
親会社株主に帰属する当期純利益	3,671	2,516			6,188
総資産	269,828	271,261			―
純資産	223,141	224,323			―

2026年3月期（連結）

（単位：百万円）

	第1四半期 2025年4月～6月	第2四半期 2025年7月～9月	第3四半期 2025年10月～12月	第4四半期 2026年1月～3月	通算 2025年4月～2026年3月
売上高	31,876	33,269	36,325	37,575	139,047
売上総利益	10,716	11,492	12,255	12,539	47,003
営業利益	3,413	3,828	4,248	4,216	15,706
経常利益	4,033	4,809	5,341	5,483	19,667
税金等調整前当期純利益	4,552	4,707	5,290	8,400	22,951
親会社株主に帰属する当期純利益	2,810	2,851	3,712	3,566	12,940
総資産	256,085	261,468	259,113	273,094	―
純資産	215,591	217,283	214,386	221,457	―

2025年3月期（連結）

（単位：百万円）

	第1四半期 2024年4月～6月	第2四半期 2024年7月～9月	第3四半期 2024年10月～12月	第4四半期 2025年1月～3月	通算 2024年4月～2025年3月
売上高	30,344	32,757	33,723	36,247	133,073
売上総利益	10,475	10,924	11,332	11,969	44,700
営業利益	3,654	3,850	4,169	4,115	15,790
経常利益	4,909	3,997	5,286	5,742	19,936
税金等調整前当期純利益	4,944	4,027	5,231	5,499	19,702
親会社株主に帰属する当期純利益	3,024	2,869	3,665	3,552	13,112
総資産	266,910	265,566	264,483	267,250	―
純資産	223,068	225,074	220,208	223,298	―

※表示方法を当中間連結会計期間より変更しております。そのため、2026年3月期及び2025年3月期についても表示方法の変更を反映させた組替え後の数値に修正しております。

(2)報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失（△）			
		前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額	増減率	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額	増減率
薬品事業	日本	16,820	17,786	966	5.7%	3,022	3,320	297	9.8%
	アジア	12,010	13,771	1,761	14.7%	1,898	2,048	150	7.9%
	欧米	409	609	199	48.8%	40	153	112	275.3%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	606	792	186	30.7%	△ 56	△ 0	55	98.4%
	計	29,846	32,960	3,113	10.4%	4,905	5,521	616	12.6%
装置事業	日本	6,913	7,443	530	7.7%	217	829	611	280.5%
	アジア	3,348	1,370	△ 1,977	△59.1%	96	150	53	55.4%
	欧米	342	396	54	16.0%	43	35	△ 8	△19.8%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	295	408	112	38.1%	14	△ 14	△ 28	△202.5%
	計	10,900	9,620	△ 1,279	△11.7%	372	1,000	627	168.3%
加工事業	日本	12,822	13,584	761	5.9%	2,237	2,500	263	11.8%
	アジア	6,000	6,742	741	12.4%	553	831	278	50.3%
	欧米	5,066	5,325	259	5.1%	△ 18	△ 57	△ 38	△203.3%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	34	226	192	564.7%	△ 140	19	159	113.6%
	計	23,923	25,879	1,955	8.2%	2,631	3,294	662	25.2%
報告セグメント計		64,669	68,459	3,789	5.9%	7,909	9,815	1,906	24.1%
その他	日本	1,412	1,432	19	1.4%	△ 35	△ 19	15	43.8%
	アジア	－	－	－	－	－	－	－	－
	欧米	－	－	－	－	－	－	－	－
	セグメント間の内部売上高又は振替高	3	402	399	－	0	△ 1	△1	－
	計	1,416	1,835	418	29.6%	△ 35	△ 21	13	39.6%
合計		66,086	70,294	4,208	6.4%	7,874	9,794	1,920	24.4%
調整額		△ 940	△ 1,831	△ 891	△94.8%	△ 632	△ 786	△ 153	△24.3%
連結損益計算書計上額		65,146	68,463	3,317	5.1%	7,241	9,007	1,766	24.4%

所在地別セグメント情報

（単位：百万円）

所在地	売上高				営業利益			
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額	増減率	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額	増減率
日本	40,688	43,670	2,982	7.3%	5,547	6,785	1,237	22.3%
アジア	21,463	22,588	1,125	5.2%	2,548	3,013	464	18.2%
欧米	5,973	6,382	409	6.8%	65	130	65	99.6%
合計	68,125	72,641	4,516	6.6%	8,161	9,929	1,767	21.7%
調整額	△ 2,979	△ 4,178	△ 1,199	△40.3%	△ 920	△ 921	△ 1	△0.1%
連結損益計算書計上額	65,146	68,463	3,317	5.1%	7,241	9,007	1,766	24.4%